

《 目 次 》

1. 提言の要旨	1
2. 問題提起	2
3. 現状把握	3
4. 本質追究	6
5. 目標設定	7
6. 提 言	7
7. おわりに	13



1. 提言の要旨

まずは『命を守る』減災対策

～東日本大震災を風化させない～

問題提起

(1) 行政対応の問題点

津波災害に対して、防災関係者の人命が多く失われ、公務員等の安全確保がされていなかった。また、住民への適切な避難場所の周知が不足していたなど行政側の問題を提起する。

(2) 住民の避難行動の問題点

住民の避難行動において、ハード面の限界を知り、「防災」から「減災」の考え方に移行し、「逃げる」ことを前提とした地域づくりができていなかったなど住民側の問題を提起する。

本質追究

- ①初動マニュアルによる即時の災害対応により公務員等が被災し、その後の救助、応急対策に支障をきたした。
- ②行政から津波対策として必要な情報を十分提供できていなかった。

- ①津波に対する危機感や知識が薄らぎ、避難行動につながらなかった。
- ②行政主導のイベント的防災訓練により、誤った認識をしたり、指示待ち住民となってしまった。

目標

「助かることで、助ける人となろうプロジェクト」

～住民が自ら判断し、自ら行動する災害に強いまちづくり～

施策

【行政対応に対する施策】

公務員の災害時初動マニュアルの作成
情報の公表による住民との意識共有

【住民の避難に対する施策】

減災教育
防災訓練の問題点を改善

具体策

～行政対応の問題点を改善するために～

- ① 公務員等の初動マニュアルの作成
- ② 標高マップ等の公表及び意識共有

～震災の教訓を風化させないために～

- ③ クロスロードゲームなどの持続可能な減災教育手法の活用
- ④ 実践的防災訓練の開催